

沖繩芸能のダイナミズム出版

研究者7人が
各テーマ執筆

八重山の祝宴の考察も

「沖繩芸能のダイナミズム

ム―創造・表象・越境」(久
万田晋・三島わか編)が
このほど(株)七月社から出版
された。写真。

同書は沖繩にみられる多
様な伝統芸能―八重山の祝
宴、組踊、エイサー、ハワ
イの盆踊り、三線など―に
ついて、7人の研究者がそ
れぞれのテーマで論じた論

考集となっている。

第1章では飯田泰彦氏
(竹富町教育委員会)が八
重山の「祝宴」について考
察。竹富島の種子取祭や新
城島の結願祭の祭祀まつりに加え
生年祝い、結婚式など多く
の事例を取り上げ、儀礼の
ような様式化された芸能か
ら庶民が楽しめるくだけた
芸能が演じられる祝宴の構

造や可能性について論じて
いる。

このほか戦前・戦後のラ
ジオで形成された沖繩イ



メージの研究や、近世にお
ける組踊、本島でのエイ
サー伝播の状況、ハワイで
の沖繩系移民の芸能、三線
の価値と人間関係など、さ
まざまなトピックが取り上
げられている。多角的な観
点からみた「伝統芸能」や
時代とともに伝播、変容し
ていく様子などについて詳
細に記述された著書となっ
ている。

市内書店で販売。280
0円(税別)。全384ペー
ジ。